

製品名: iNOS ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21010**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.2mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:131kD;Observed MW:131kD

抗原情報

遺伝子名	NOS2, INOS
別名	NOS2;NOS2A;Nitric oxide synthase;inducible;Hepatocyte NOS;HEP-NOS;Inducible NO synthase;Inducible NOS;iNOS;NOS type II;Peptidyl-cysteine S-nitrosylase NOS2
遺伝子 ID	4843.0
SwissProt ID	P35228
免疫原	-

背景

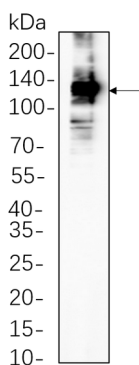
細胞局在: 細胞質、細胞質。細胞質全体に散在する個別の焦点として局在し、SPSB1 および SPSB4 の存在下では、より拡散した細胞

質局在を示す。一酸化窒素は反応性フリーラジカルであり、神経伝達、抗菌作用、抗腫瘍作用など、様々なプロセスにおいて生物学的メディエーターとして作用する。この遺伝子は、肝臓で発現し、リポ多糖と特定のサイトカインの組み合わせによって誘導される一酸化窒素合成酵素をコードする。3つの関連する擬似遺伝子が、17番染色体のスミス・マゲニス症候群領域に位置する。[RefSeq提供、2008年7月]

研究分野

-

画像データ



RAW264.7細胞ライセートを4~20% SDS-PAGEで分離し、メンブレンをiNOSウサギモノクローナル抗体(1:1000)でプロットした。抗体の検出にはHRP標識ヤギ抗ウサギIgG(H+L)抗体を用いた。